

## 令和5年度 事業報告

### ○生活保護授産事業

生活保護授産事業では、昨年同様何らかの事情により通所が困難な利用者に対しても家庭内授産の提供を行うなど、柔軟性のある取り組みを行った。また、ひきこもりや依存症、制度の狭間で課題を抱える方々に対しても、福祉事務所の職員、支援員と連携を図りながら、自宅訪問や面談など直接的な働きかけを行い、本人の働く意欲の向上、地域とのつながりの場として、問題解決の動機付けとなるよう取り組みを行った。また、利用者の作業訓練や生活指導なども円滑に進めることが出来た。

機能強化促進事業として、今年度も利用者のビジネスマナー研修を開催し、基本的マナーや社会性などについて学ぶことが出来た。

### ○就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業では、「働く×くらす」をベースに、より生活が豊かで楽しく暮らせるよう、障がい理由としない、一人一人が自覚と自信を持ち、様々な経験から視野が広がるような取り組みを行った。

一人一人が、個人→チームで行動出来るようになり、会話も増え、それらが生産活動にも繋がる結果となった。今年度の平均工賃額は、昨年度をさらに8,957円上回り50,987円という好成果となった。高工賃の実現は利用者の自己肯定感の向上、やりがいにも繋がったが、その反面、障がいの有無について悩む声や、お金を無心される者、お金を得てもその価値が分からない者など、高工賃を得ることで新たな課題も増えてきた。

「わーくるぷらす」弁当和来の運営は今年度も順調に推移し、更なる顧客の獲得や地域からの信用や認知度等、少しずつではあるが「店舗」として浸透してきたと実感できる年となった。その背景には、管理栄養士をはじめとする職員の徹底した衛生管理や店舗実践、魅力のある献立作りなど、見えない部分での努力の成果だと感じている。

今後も、HACCPに基づく衛生管理の徹底は永続的に強化していき、店舗販売における実践を通じて、利用者獲得、利用者支援の充実、更なる顧客獲得につなげられるよう、「食べる幸せ、つながる支合わせ」をモットーに地域を巻き込みながら活動出来るよう創意工夫していきたい。

### ○生活訓練事業

生活訓練事業では、日中活動のプログラムを充実させ、一人ひとりのリズムが図れるようメリハリのある支援を行った。SSTプログラムやロールプレイングなど実践的に社会性などを学ぶ機会を増やし、利用者一人ひとりが自信を持って社会参加できるよう包摂的な支援を継続的に行うことが出来た。作業訓練にも力を入れ有限である2年後を見据え、内職作業や施設外就労などのプログラムも実践的に行うことが出来た。また、支援学

校からの見学や実習の受入れ等も積極的に行った。

#### ○相談支援事業(特定相談支援事業・一般相談支援事業)

相談支援センターやぶきでは、障がい福祉サービスを総合的に利用できるよう、基本姿勢に基づき初回面談やアセスメント、計画相談やモニタリング等を行った。受持ち相談件数は156件に上るが、煩雑な業務とは相反してサービス等単価の低さ、モニタリング等の見落とし等もあり昨年より減収となった。相談員一人体制での管理には限界があるため、次年度は複数人での対応も視野に検討していきたい。新規受入れに関しては、迅速に対応し柔軟性のある業務を行うことが出来ていた。

一般相談支援事業では地域移行支援や地域定着支援を行い、利用者が住み慣れた地域で当たり前の暮らしができるよう、24時間緊急時サポート体制などの対応を行ってきた。また、中島村からの委託相談では、対象者のサービス調整や基本相談等を行った。また、近隣市町村及び地域の関係機関との連携を図り、各種会議や研修への参加も行い資質向上に努めた。

### 重点実施事項

#### ① 人材育成

今年度も、職員の資質向上を図るため、外部講師を招きチームビルディング研修、人材育成研修を行った。職員が安心して働ける環境、楽しくやりがいを持ちキャリアアップができる環境を整えるなど創意工夫を行うが、「就労」と「福祉」を両立しながら働ける職員の育成に苦慮する。試用期間で退職してしまう職員も見立ち、人材育成のあり方も更なる検討が必要だと感じる年となった。

#### ② リスクマネジメント

事業継続計画(BCP)の作成や、事業の継続または復旧を図るための手順書等(マニュアル)の作成、整備を行った。(現在も一部作成中)

また、事故発生時の対応や安全確保についても迅速かつ誠実な行動が取れるよう、万が一に備えて、防災・防犯管理委員会と一緒に企画等を行い、定期的に災害時を想定した避難訓練や防犯訓練を行った。

6S活動では定期的な声掛けや啓発活動を行い、第一土曜日を活用して普段できない場所や物などの整理整頓等を行った。

#### ③ 委員会活動

職員が各委員会に分かれて一年間に渡り施設運営に役立つ活動を行った。反省点としては、委員会活動を行う時間がなかなか取れず、班によって内容や中身のウエイトにバラつきが見られた。メリットとしては、施設運営に参画できたことで、職員の主体性やマネジメント力、組織の活性化に繋がる良い機会となった。